

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-83	小学校	音楽科	音楽	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽 603	小学音楽 音楽のおくりもの6		

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



音や音楽に、心を響かせる

「小学音楽 音楽のおくりもの6」は、教育基本法及び学校教育法の内容や、さまざまな教育課題に対応すべく、「豊かな情操を培い、学びに向かう力を育む」「丁寧なステップアップと編修上の工夫で、先生方のご授業を支える」「一人一人の子どもたちに寄り添う」の三つの観点を基本方針とし編修にあたりました。

特色 1

学びに向かう力を育む

音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な学びを引き出す工夫をしています。
学習の見通しや活動を、わかりやすく明示しました。

特色 2

先生方のご授業を支える

資質・能力を育みながら、学びが深まる構成や配列にしました。

特色 3

一人一人の子どもたちに寄り添う

歌詞の内容を、美しいビジュアルで表現しています。

主体的・協働的な学びを引き出す工夫をしています。

本教科書は、題材構成された主要部分と、選択可能なオプション部分等で構成されています。主要部分では「学習のめあて」や「まなびナビ」などを示すことにより、子どもが見通しをもって主体的に学習できるように配慮しました。
[共通事項]の「音楽を形づくっている要素」を本教科書では「音楽のもと」と示しています。

題材名

世界の音楽

リズムにのって
世界の音楽を楽しもう

学習のめあて

音楽のもと

◆リズム ◆縦と横との関係 ◆フレーズ

「音楽のもと」を見開きごとに示しました。「音楽的な見方・考え方」を働かせ、思考・判断しながら、表現を深めていくことができます。

まなびナビ
(学び方を知ろう)

- 「チャウエ チチョー チェム チェロ」は、フレーズや音の重なり方を楽しみながら、くり返して歌おう。
- 「ウェンセスラスはよい王様」は、ばん奏のリズムにのって、軽やかに演奏しよう。

「まなびナビ」は、指導上の留意点や、評価のガイドも視野に設定しています。学びのプロセスを示すことで、児童が見通しをもって学習を進めることができます。

リズムにのって
世界の音楽を楽しもう

チャウエ チチョー チェム チェロ

ウェンセスラスはよい王様

SAMPLE

▲P.40-41

学習の見通しや活動を、わかりやすく明示しました。

目次の次の見開きページに、各題材の学習内容について、子どもにもわかるように説明しています。

学習マップ

1 短調のひびき
短調と長調のひびきのちがいを
感じ取りながら、演奏したり
きいたりします。

2 アンサンブルのみりよく
演奏者の意図を感じてオーケストラの表現をきいたり、
自分たちの思いを生かして合唱表現をくふうしたりします。

3 せん律のひびき合い
せん律の動きや重なり方を
きき取って表現します。

4 音楽のききどころ
せん律や音色、楽器どうしの関わり
に注目してきき、曲のよさを見つけて
友達に伝えます。

5 豊かな表現
歌詞や曲の持ちよう、
パートの役割を生かしながら、
表現の仕方をくふうして演奏します。

6 世界の音楽
暮らしの中で生まれ、伝えられてきた
音楽の持ちようを味わいながら、
きいたり歌ったりします。

7 日本の音楽
日本の音楽のさまざまな
みりよくを味わいながら、
きいたり歌ったりします。

8 思いをこめた表現
曲にこめられた思いを感じ取りながら、
自分たちの表現をつくりあげます。

学習の進め方

♪「音楽のもと」を手がかりにして学習を進めよう

- ・「音楽のもと」を手がかりにして曲の持ちようを見つけ、どのように演奏したいか考えたり、曲のよいところやおもしろいところについて友達と伝え合ったりしよう。
- ・音楽をつくるときも、「音楽のもと」を生かしてつくろう。

♪曲についていろいろなことを知ろう

- ・曲の感じをとらえ、どうしてそのように感じるか理由を見つたり、歌詞との関わりについて調べたりしてみよう。
- ・作曲家や、その音楽が生まれた国・地域などについて調べたり、暮らしと音楽との関わりについて考えたりしてみよう。

♪すてきな演奏のために

- ・「こんなふうに演奏したい」という思いや意図を大切にしながら、歌いや楽器の演奏の仕方について考え、くふうして練習しよう。

♪きき合いながら気持ちを合わせて演奏しよう

- ・おたがいの声や楽器の音、ばん奏などをききながら、よりよい演奏をめざそう。

特色
2

先生方のご授業を支える

資質・能力を育みながら、学びが深まる構成や配列にしました。

「音楽の見方・考え方を働かせながら資質・能力を育む」「生活や社会と音楽との関わりを扱う」「主体的・協働的に表現を楽しむ」を柱に、子どもたちの学びが深まるよう、系統性のある構成に配慮しました。

主要部分の題材構成一覧

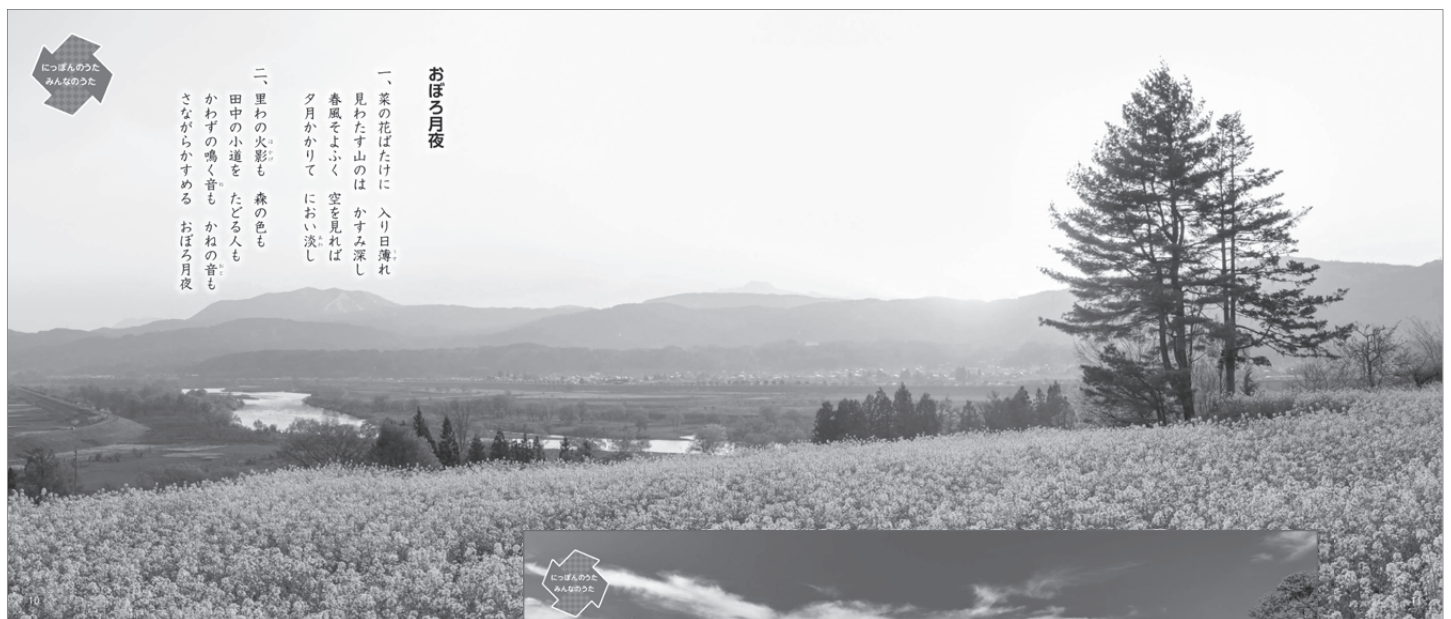
	4年	5年	6年
音楽の見方・考え方を働かせながら資質・能力を育む題材	はくとせんりつ	和音や低音のはたらき	短調のひびき
	ひびきのある歌声		
	曲に合った歌い方	豊かな表現	豊かな表現
	かけ合いと重なり	アンサンブルのみりよく	アンサンブルのみりよく
	パートの役わり	パートの役わり	せん律のひびき合い
音楽のききどころ	音楽のききどころ	音楽のききどころ	
生活や社会と音楽との関わりを扱う題材	日本と世界の音楽	日本の音楽	日本の音楽 世界の音楽
主体的・協働的に表現を楽しむ題材(まとめ)	思いに合った表げん	思いをこめた表現	思いをこめた表現

特色
3

一人一人の子どもたちに寄り添う

歌詞の内容を、美しいビジュアルで表現しています。

日本の美しい自然や四季を感じ取れるよう、折込3ページで写真を掲載しています。



▲ P.10-11



◀ P.22-23

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> 教材選定における配慮 教材の配列と扱いにおける配慮 学習活動の提示における配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養、豊かな情操を培えるように、我が国及び諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種のものを選び、音楽のもつ多様なよさや面白さを感じ取ることができるように配慮しました。(第1号) 児童一人一人がその能力を伸ばし創造性を培えるように、教材の配列や扱いに配慮しました。(第2号) 正義と責任、自他の敬愛と協力に対応するため、心を通わせながら学習活動をすすめる設定や示唆を設けました。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年 全学年 P.4 P.18ほか
<ul style="list-style-type: none"> 郷土の音楽の扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な楽器の音楽を掲載するなど、伝統と文化を尊重する心を育むよう配慮しました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> P.42ほか
<ul style="list-style-type: none"> 共通教材等の唱歌の扱い (「にっぽんのうた みんなのうた」コーナー) 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の自然を表現した教材を扱う際、自然を大切にする気持ちを育むよう配慮しました。(第4号) 共通教材をはじめ歌い継いでいきたい我が国の歌の扱いでは、我が国の自然や四季、暮らしとの関わりを重視しました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> P.10ほか P.22ほか
<ul style="list-style-type: none"> 国歌「君が代」の扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞や楽譜が読みやすい見開き構成とし、「さざれ石」の写真や、歌詞の大意を平易な文で掲載しました。(第5号) 自国や他国の国歌が演奏される場面をスポーツ大会の写真などで掲載し、国歌の担う国際的な役割にも触れています。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年 国歌「君が代」

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

人権教育・特別支援教育

専門家による校閲を受け、すべての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

- 人権教育への配慮
人権を尊重し、あらゆる差別やジェンダーなどについても配慮しています。

- カラーユニバーサルデザインへの配慮

紙面全体、文字や図版については、色の組み合わせや濃淡の工夫、また罫線や記号・番号、文字の補助を施すなど、色覚の多様性を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。



- ユニバーサルデザインフォントの使用

紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを要所に使用しています。



新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、表紙には抗菌加工をしており、裏表紙には、学校の生活で気をつけることをまとめた資料にアクセスできる、二次元コードを掲載しています。



ESD・SDGsへの取り組み

高学年では、対応した教材を設定し、専門家による校閲を受け、関連する内容をマークで示しました。P.46〈心と心をつなぐ音楽〉では、あらゆる年齢の、すべての人の健康的な生活や質の高い教育、生涯学習の機会の大切さについても意識づけが図れます。

まなびリンク



紙面上の二次元コードを通じた、音声や動画、写真、ワークシートなどの良質なデジタルコンテンツの活用により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。

教科書の紙面では「見る」「書く」「知る」のアイコンが目印です。

※PC・スマートフォン等とインターネット環境によって、家庭等校外からもアクセスが可能です。



小学音楽
「まなびリンク」
トップページ



見る
(動画など)



書く
(書き込み欄など)



知る
(資料など)

◀P.79

雅楽の演奏

雅楽には、楽器の演奏による「管絃」(管絃)と呼ばれる種類のほかに、舞を主とするものや、うたを主とするものなどがあります。



▲〈管絃〉の演奏 (宮内庁式部職業部)

- 雅楽で使われる楽器は、1500年ほど前にシルクロードなどいくつかの道を通して、大陸から日本に伝わったものが、もともとなっているといわれています。
- 雅楽では、ふき物(笛の仲間)、ひき物(ことなど、弦をはじく楽器)、打ち物(たいこの仲間)などと呼ばれる、いろいろな楽器が使われています。
- 形や音の出し方が雅楽の楽器と似ているものが、アジアなどのさまざまな地域にあります。



豊富な資料により、
発展的に学習できます。



デジタル機器を使用した学習への配慮

● タブレットPC等の活用

発達段階に応じて、タブレットPC等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。

● デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容の学習者用デジタル教科書や、動画や音声などを追加した学習者用デジタル資料集・指導者用デジタル教科書を発行します。

今日的な教育課題(カリキュラム・マネジメント)への対応

- 主要部分と、選択可能なオプション部分を組み合わせることにより、地域や学校ごとのカリキュラムへの対応が可能です。
- 短時間学習(※)を視野に、教科横断的に扱える教材を掲載しています。
- 楽器の技能に関しては、授業時間内や短い時間を利用して繰り返し楽しみながら練習し、定着を図るコーナーを設定しています。

※ 短時間学習…10分、15分などの短い時間を単位として取り組む学習

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-83	小学校	音楽科	音楽	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽 603	小学音楽 音楽のおくりもの6		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

学びに向かう力を育む

子どもの主体的・協働的な学びを、わかりやすい紙面でサポートします。

2

思いや意図を大切にしながら、みんなで表現をくふうしよう

ぼくらの白々

学び合う音楽

- ①どんな曲かな？
曲のみりよくを見つけてよう。
● 楽譜を見ながら演奏をせいでみよう。
● 歌詞を声に出して読んだり、主なせん律のところを歌ったりしてみよう。
● 曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。
- ②曲の特ちょうはどこかな？
イメージを共有しよう。
● ①で出した意見を確かめながら、きいたり歌ったりしよう。楽譜の記号にも注目して、速さ、強弱の変化、歌調とせん律の関係、ばん奏の効果など、気がついたことをまとめよう。
● 作者はだれに向かって、どんなメッセージを曲にこめたのか想像してみよう。
- ③パートに分かれて練習しよう。
● 自分の声に合うパートを選びよう。
● 曲の各部分でのパートの役割を考えて、声の強さや音色をくふうしよう。
- ④みんなで合わせよう。
● 和音のびびきや音の重なり方の変化など、曲のしくみや特ちょうをとらえながら歌おう。
● 自分たちの思いや意図を大切に、よりよい演奏にしていくためのポイントを考えよう。
- ⑤自分たちの表現をめざそう。
● 演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、「もっとこうしたいな」と思うところを話し合おう。
● たがいによきき合って、さらにまとまりのあるアンサンブルにするために、いろいろなめしてみよう。
(例) パートどうしの音量のバランスなど

◀ P.18-19

子どもが見通しを持って主体的に学習できるように、学び方を例示しています。

まなびリンクでは、曲の作者からのメッセージと範唱も掲載しています。



学び合う音楽

①どんな曲かな？
曲のみりよくを見つけてよう。

- 楽譜を見ながら演奏をせいでみよう。
- 歌詞を声に出して読んだり、主なせん律のところを歌ったりしてみよう。
- 曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。

②曲の特ちょうはどこかな？
イメージを共有しよう。

- ①で出した意見を確かめながら、きいたり歌ったりしよう。楽譜の記号にも注目して、速さ、強弱の変化、歌調とせん律の関係、ばん奏の効果など、気がついたことをまとめよう。
- 作者はだれに向かって、どんなメッセージを曲にこめたのか想像してみよう。

③パートに分かれて練習しよう。

- 自分の声に合うパートを選びよう。
- 曲の各部分でのパートの役割を考えて、声の強さや音色をくふうしよう。

④みんなで合わせよう。

- 和音のびびきや音の重なり方の変化など、曲のしくみや特ちょうをとらえながら歌おう。
- 自分たちの思いや意図を大切に、よりよい演奏にしていくためのポイントを考えよう。

⑤自分たちの表現をめざそう。

- 演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、「もっとこうしたいな」と思うところを話し合おう。
- たがいによきき合って、さらにまとまりのあるアンサンブルにするために、いろいろなめしてみよう。
(例) パートどうしの音量のバランスなど

4

二つの楽器の関わりやびびき合いを楽しもう

バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章 (ワグネル作曲)

曲の流れ(最初の部分)

せん律

演奏する楽器

● まず、せん律の流れに合わせてせきを動かしたり、楽器のせきをまわしたりしながら、曲の最初の部分を見てみよう。
● 最初のせん律は、二つの楽器によって同時に演奏されます。どちらの楽器が先に聴かれますか。注目してください。
● 最初のせん律は、どちらの楽器で演奏されますか。1回目のせん律と2回目のせん律とは、どのような変化があるかな。

● 楽器を決めてひきまねをしりながら、曲全体をきいてみよう。
● 最初の部分だけでなく、曲全体に7のせん律がくり返し現れます。注目してください。
● 曲全体をきいて、よいなと思ったところを、友達に伝えよう。

◀ P.30-31

思考・判断の場面の示唆で、子どもの協働的な深い学びをサポートします。

先生方のご授業を支える

子どもが学習活動を通して、知識や技能を確実に習得できるように構成しています。

2 アンサンブルのめりめり

演奏による表現のちがいをきき取ろう

交響曲第5番「運命」第1楽章から
(ベートーヴェン 作曲)

指揮者はオーケストラの演奏をまとめ、表現をつくりあげます。

- 同じ曲でも演奏の仕方によって感じが変わります。いろいろな人の演奏をきいてみよう。

曲の背景

ベートーヴェン
【1770-1827】

ベートーヴェンはドイツに生まれ、作曲家やピアノ奏者として活躍しました。その一生は苦痛の連続でしたが、それの作品は今も広く親しまれ、演奏されています。

オーケストラの配置の例

他にも、いろいろな配置があります。

▲P.16-17

各パートをどの楽器を使って演奏したいかを考える学習活動で、学びを深めることができます。

音楽のもと ◆楽譜 ◆楽譜

オーケストラの楽器と楽ふ

下の楽ふは、この曲の第1楽章（左ページ）の出だしところです。音鳴する楽器が、全部のっている楽ふをスコアといふます。

Symphonie No. 5
c-moll

上の楽ふは、楽譜の楽譜の色ごとに分けています。

木管楽器 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット

金管楽器 トランペット、トロンボーン

弦楽器 バイオリン、コントラバス、チェロ

打楽器 タムタム

まなびリンクでは、動機がオーケストラのさまざまな楽器で繰り返し演奏される様子を、視覚的に捉えることができる動画を用意しています。

5 楽器を選んでアンサンブルを楽しもう
L-O-V-E

8テンポフルト 作曲
大 楽 曲

楽器を選んで演奏しよう。

音楽のもと ◆音程 ◆リズム ◆編と編との関係 ◆楽譜 ◆音ひかひかことえ ◆メ

スウィング "ゆれ" という意味。ジャズという音楽でよく使われるリズムのとり方で、"ゆれ"の感じに演奏します。

楽器や音色の選定と楽法の例

パート	楽器	音色	楽法	楽法
①	トランペット	トランペット	→	けんけんこっこ
②	トロンボーン	けんけんこっこ	→	けんけんこっこ
③	ピアノ	ピアノ	→	けんけんこっこ
④	ドラム	ドラム	→	けんけんこっこ
⑤	バス	バス	→	けんけんこっこ

※楽器や音色の選定は、楽器や音色の選定と楽法の例を参考にしてください。

P.34-35▶

スキルアップ

「スキルアップ」は、毎時扱って合唱等の技能習得に生かせる、2～6年生の巻頭に設けたコーナーです。

スキルアップ 歌声とリズムのトレーニング

ワイ パンパ

ジャンプ曲
野島 芳 作曲

この曲は、アフリカのジャンプで始まる。踊るときに歌われていたと伝えられています。

【楽譜の内容】
あなたと大切な人、ついでにいっしょに居ることができました。

歌声

- 明るくのびやかに、声を高く響かせるような気持ちで歌おう。
- のびのびと歌うように歌おう。
- 低い音も、高い音も歌うときと同じようにひびきかかるといいね。
- 歌が終わったら、さきおきなで拍手を歌おう。

言葉をもとにリズムで遊ぼう

- テーマをもとに言葉を並び、リズムをたてよう。
- 1でつくった言葉のリズムを、いろいろな体の音で打てよう。
- 2のリズムを声で合わせてみよう。
- 3でつくったリズム・アンサンブルの、強弱や速さをかためてみよう。

もっとあそぼう

他のテーマや言葉でつくったリズムをもとに、自分たちのリズム・アンサンブルをつくって遊ぼう。

P.8-9▶



他教科(英語)と関連させ、短時間学習の教材として扱える「ショート タイム ラーニング」を、巻末に掲載しています。

Short Time Learning

クラム エヴリ マウンテン
Climb Ev'ry Mountain (すべての山に登れ)

ハーマス・タイン2世 作詞
ロジャーズ 作曲
野田 玲 編曲

day of your life
Ev'ry day of your life for as long as you

Climb ev - 'ry moun - tain, search high and low.
Fol - low ev - 'ry rain - bow

till you find your dream!
till you find your dream!

A dream that will need all the love you can give,

74

75

歌詞の大旨 すべての山に登りなさい。高い山も低い山もすべてをさがし、すべてのわき道、小道をたどって、すべての山に登りなさい。すべての小川をわたり、すべてののじをたどって、あなたが自分の夢を見つけるまで！
夢はあなたの愛をすべてささげたととき、かなうもの。人生のいつの日も、命あかざり。

P.74-75▶

特色 3

一人一人の子どもたちに寄り添う

表現や活動の参考となるイラストを配置しています。



役割を決めて音階をもとにした音楽をつくらう

一つの楽器を4人で使って演奏しよう。

- 楽器の例 マリンバ、グロッケン、ピブラフォン、ピアノなど
(ピアノなどの鍵盤楽器を使うときは、音の低い方から①②③④の順番に並んで演奏します。)
- 全体のしくみ ②の部分と④の部分で演奏する。
- 役割 ①ささえ ②くり返して音楽を進める ③④呼びかけとこたえ

参考曲

▶ 前奏曲 第1集から「帆」
ドビュッシー 作曲

- 重ね方、強弱、速さなどをくふうしよう。
 - パートごとの役割を生かしながら、まとまりのある音楽をつくらう。
- (つくり方の例)
- 始まり…①が②の部分の演奏を始め、しばらくしたら③④のパートも加わる。
つなぎ…①が②の部分の音に変わったら、③④も②の部分に移っていく。
(②の部分から③の部分へも同じようにする。これを何度かくり返す。)
- 終わり…①が②の部分で③④のように、リズムを細かく打ち始めたら、
②③④は次第に打つのを終える。最後に①が自由なタイミングで演奏を終える。

アの部分 ③④は

から音を選んで短いせん律をつくり、呼びかけ合う。
(音の高いところや低いところなど、自由な位置でよい。)

① 自由な長さで何回も打つ。
② 何回もくり返す。

イの部分 ③④は

から音を選んで短いせん律をつくり、呼びかけ合う。
(音の高いところや低いところなど、自由な位置でよい。)

① 自由な長さで何回も打つ。
② 何回もくり返す。

内容の特色



観点	内容の特色（該当箇所掲載）
知識及び技能の習得	「音楽を形づくっている要素」を、児童がその働きを意識しながら学習できるように「音楽のもと」として見開きごとに示しました。 また、「音楽を形づくっている要素」をもとに、思いや意図に合った表現のための技能を身に付けられるように配慮しました（P.26-27ほか）。
思考力、判断力、表現力等の育成	「音楽を形づくっている要素」をもとに、音楽を捉えて魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かして表現したりできるように、教材や扱い方に配慮しました（P.18-19、P.30-31ほか）。
主体的・協働的で深い学び	児童が見通しを持って主体的・協働的に学習できるように、見開きごとに学習のねらいとまなびナビ（P.14ほか）を設定したほか、学年全体の学習の流れを、学習マップ（P.4-5）で示しました。
歌唱教材	音域や長さ、歌詞の内容が発達段階に適合するように、教材の選定や扱いに配慮しました。また、輪唱やパートナーソングなど（P.8ほか）を取り入れることにより、合唱の導入の扱いにも配慮しました。
器楽教材	演奏の技能を少しずつ確実に習得できるような構成です（P.20-21ほか）。
音楽づくり教材	児童が音楽づくりの発想を得たり、思いや意図をもって、まとまりを意識した音楽をつくったりできるように、学習活動の系統性や発達段階に配慮しています（P.9ほか）。
鑑賞教材	「音楽を形づくっている要素」を聴き取りやすい教材を選択し、音楽的な見方・考え方を育むことができるように配慮しています（P.30-31ほか）。
伝統・文化の尊重	歌唱共通教材では、歌詞から想像される季節や情景を表す写真、挿絵を豊富に掲載しています（P.10-11ほか）。
国際理解	諸外国の音楽文化について、人々の生活との関わりを意識した扱いに配慮し、多様な曲種の音楽を扱っています（P.38-39ほか）。
範囲	低・中・高各学年の目標及び内容をふまえて精選された題材と教材により、必要な範囲の内容が十分かつ適切に扱われるように配慮しています。
程度	リズム、音域、歌詞の内容など、各学年にふさわしいグレードの教材を、発達段階に合わせて系統的に配置しています。
教育基本法との対応	第二条第1号～第5号に適合するように編修しています（教育基本法との対照表をご参照ください）。
ICT機器の活用	紙面に掲載した二次元コードで、児童の使用する端末からインターネットを使って容易に閲覧できる動画・テキストの資料「まなびリンク」を用意しています。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	専門家による校閲を受け、すべての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。
製本	製本は堅牢で、長期の使用に十分耐えられる仕様です。

2. 対照表

第6学年 教材 ◎ …鑑賞教材 (共) …共通教材 ☆ …音楽づくり	A 表現											B 鑑賞		[共通事項]		他教科との 関連等	
	(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 音楽づくり						(1)		(1)		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア		イ		ウ		ア	イ	ア		イ
							(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)					
つばさをください	○	○	○												○		
ワイ バンバ	○	○	○												○		
☆言葉をもとにリズムで遊ぼう								○		○		○			○		
おぼろ月夜(共)	○	○	○												○		
マルセリーノの歌/ ◎ハンガリー舞曲 第5番	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	
◎交響曲第5番「運命」第1楽章から													○	○	○	○	
ぼくらの日々	○	○	○												○	○	
The Sound of Music				○	○	○									○		
われは海の子(共)	○	○	○												○		
ロック マイ ソウル	○	○	○												○	○	
カノン/◎カノン				○	○	○							○	○	○	○	
◎バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章													○	○	○	○	
明日を信じて	○	○	○												○	○	
L-O-V-E				○	○	○									○	○	
☆じゅんかんコードをもとにアドリブで 遊ぼう								○		○		○			○		
◎世界の声の音楽/ ◎世界の楽器のひびき													○	○	○		
チャウエ チチョー チェム チェロ	○	○	○												○	○	
ウェンセスラスはよい王様				○	○										○	○	
◎春の海													○	○	○	○	
越天楽今様(共)	○	○	○	○	○	○									○	○	
ふるさと(共)	○	○	○												○		
Take Me Home, Country Roads (カントリー ロード)	○			○	○	○									○		英
さようなら	○	○	○												○		
☆役割を決めて音階をもとにした音楽を つくろう/◎「帆」								○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎ラプソディー イン ブルー													○	○	○		
語りあおう	○	○	○												○		
すてきな友達	○	○	○												○		
今、生きている!	○	○	○												○		
未来への賛歌	○	○	○												○		
あおげばとうし	○	○	○												○		
花は咲く	○	○	○												○		
世界の約束				○	○	○									○		
八木節				○	○	○									○		
野にさく花のように	○	○	○												○		
音楽のおくりもの	○	○	○	○	○	○									○		
さんぽ	○	○	○	○	○	○									○		
Climb Ev'ry Mountain (すべての山に登れ)	○	○	○														英
君が代	○	○	○												○		
荒城の月/箱根八里	○	○	○												○		

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-83	小学校	音楽科	音楽	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽 603	小学音楽 音楽のおくりもの6		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
33	全休ふ	2	[共通事項] (1) イ	0.25
			合計	0.25

(「類型」欄の分類について)

- 1 …… 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2 …… 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容